

令和 6 年度専門里親認定研修開催要項

1. 目的

この研修は、厚生労働省が平成 14 年度から導入した「専門里親」を養成するために、専門里親として必要な基礎的知識や技術を修得するものです。虐待及び非行等により心身に有害な影響を受けた子ども、ならびに障害をもつ子どもの心理・行動の理解とその対応方法などを学習することによって、本制度の充実と推進を図ります。

尚、これは、都道府県・指定都市・児童相談所設置市区より申込を受け、「専門里親研修制度の運営について」（平成 14 年 9 月 5 日付け雇児発第 0905003 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）に基づき、実施するものです。

2. 主催

学校法人 早稲田大学 専門里親養成・研究プロジェクト

（〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-3-10 早稲田大学 29-7 号館 221 室）

（共催）社会福祉法人 麦の子会

（〒007-0836 札幌市東区北 36 条東 9 丁目 1-1 むぎのこビル）

3. 特色

本研修は、テキストや参考文献などを中心とした通信教育（自宅学習）と面接授業（スクーリング）を行います。

4. 期間

1) 通信教育の期間は、令和 6 年 9 月 1 日（日）から 12 月 31 日（火）までの 4 ヶ月間とします。

2) 面接授業（スクーリング）は、以下の 2 か所の会場から選択し、3 日間で履修します。**別紙 2 参照**

会場 1. 早稲田大学 早稲田キャンパス 22 号館

（東京都新宿区西早稲田 1-7-14）

: 令和 6 年 9 月 27 日（金）から 9 月 29 日（日）

会場 2. 西日本こども研修センターあかし

（兵庫県明石市大久保町ゆりのき通 1-4-7）

: 令和 6 年 11 月 1 日（金）から 11 月 3 日（日）

5. 対象及び資格

1) 養育里親として 3 年以上の委託児童の養育の経験を有する者。

2) 3 年以上児童福祉事業に従事した者であって、都道府県知事（指定都市にあっては、市長とし、児童相談所設置市にあっては、児童相談所設置市の市長とする。以下同じ。）が適当と認めた者。

①福祉関係：

児童自立支援専門員、児童生活支援員、児童指導員、保育士、児童福祉司、
社会福祉士、精神保健福祉士、児童心理司

②保健・医療関係：医師、保健師、助産師、看護師

③教育関係：教員

④司法・矯正関係：家庭裁判所調査官、少年院教官

3) 都道府県知事が1)、2)と同等以上の能力を有すると認定した者。

6. 定員

各コース定員 30 名

(定員超過の場合は、現在子どもを受託中の方を優先する場合があります。)

7. 内容

1) 通信教育

「養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目」(別紙1の①)を自宅で学習し、
考查課題を1か月に2科目ずつ、提出します。(下表参照)

月	対象科目	締切日
9月	社会福祉概論、児童福祉論	令和6年9月30日(月)
10月	地域福祉論、養育家庭論	令和6年10月31日(木)
11月	社会福祉援助技術論、養護原理	令和6年11月30日(土)
12月	医学(児童精神医学を含む)、発達臨床心理学	令和6年12月31日(火)

① 考查について

考查課題は、各科目の担当講師から、提出締切日の3週間前までに提示されます。内容は担当講師によって異なりますが、選択式問題と記述式問題が出題されます。

評価基準は、テキストの内容をよく理解しているか、課題の意味を理解して解答しているか、自身の考えが述べられているか、となります。

考查結果は、通信教育期間終了後に参加者本人と都道府県・指定都市子ども家庭主管部局長あてに通知します。考查の評価(採点結果)が、基準点に及ばない場合は再考查となります。

② テキストについて

「使用テキスト一覧」については別途ご案内いたします。

(参加者が各自で購入)

2) 面接授業(スクーリング) 別紙2

「養育の内容及び方法の理解に関する科目」(別紙1の②)を学びます。
面接授業開催中の欠席は、特別なことがない限り認められません。途中欠席した場合は、次年度の再履修となりますので、申込みの際は注意してください。

- * 単年度に履修できなかった科目及びやむを得ない理由によりスクーリングを欠席した場合は、当該科目についてのみ、翌年度に限って履修することができます。
- * 都道府県・指定都市子ども家庭主管部局長は、上記の考査結果及び養育実習の結果とあわせて、専門里親として適任者であるか否かを総合的に判断し、決定することとします。

8. 申し込み方法・問い合わせ先

- 1) 「認定研修申込書」様式により、以下のメールアドレスにお送りください。
なお、同一家族で参加する場合でも、別々に申し込んでください。

Email : satooya.kensyu@list.waseda.jp

担当：早稲田大学 専門里親養成・研究プロジェクト 西郷、北村

(可能な限り E-mail でお問い合わせください)

電話：03-6273-8754 (毎火曜日 10:00～16:00)

※注意事項

申込書の送付先は早稲田大学となりますが、研修受講料等の振込先及び、委託契約を締結する場合の契約先は、麦の子会となります。

9. 申込み締切り日

令和6年7月31日(水)

10. 参加者の決定

参加の可否は、都道府県・指定都市児童福祉主管部局長及び参加者あてに通知します。

11. 経費

- 1) 研修受講料

1人 49,500円(税込)

- 2) テキスト代・考査代

① テキスト代 (参加者もしくは派遣者が購入)

② 考査代 11,000円(税込)

※参加者負担とする場合は、ご連絡ください。

- 3) 研修受講料及び考査代の振込先は、別途お知らせします。

※注意事項

・研修開始後、参加者の自己都合で中止した場合、受講料はお支払いいただきますの

で注意してください。

- ・派遣者または参加者の都合による払い戻しは、手数料がかかります。ご了承ください。
- ・スクーリング会場までの旅費、宿泊費、食事代は派遣者又は参加者の負担とします。

12. その他

- 1) 費目を研修受講料としてお支払いいただくことや委託契約の省略は可能です。委託契約が必要な場合は、ご連絡ください。その様式又は契約方法を申し込み時にご指示ください。
- 2) スクーリング期間中の保育サービスは提供していません。

別紙 1

① 通信教育科目(養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	社会福祉概論	福祉(理念)とは、社会福祉(歴史)の動向(海外の社会福祉)、基礎構造改革、福祉の領域、方法(社会福祉援助技術論)、ノーマライゼーション(理念)とは、行財政、法律・制度、マンパワー
2	児童福祉論	法制度の実施体制、相談機関、児童福祉施設の現状と課題、子どもの権利条約、行財政、マンパワー、歴史、各論(養護、障害、非行、情緒障害)
3	地域福祉論	関係機関・地域社会・他施設等との連携の必要性と実際、地域福祉計画、推進主体、児童相談所とのパートナーシップ
4	養育家庭論	社会的養護の体系、家庭的養護の現状と課題、社会的養護の歴史的展開、養育・自立支援の基本的なあり方
5	社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基本的な考え方、相談援助の方法
6	養護原理	社会的養護の動向、施設養護の現状、家庭養護の役割、家庭養護のあり方、子どもの権利擁護、パーマネンシー保障(パーマネンシー・プランニング)
7	発達臨床心理学	心の健康と発達、アタッチメント、分離と喪失、被虐待体験の影響
8	医学一般 (児童精神医学を含む)	子どもの健康と保健、発育と発達、知的障害、発達障害、精神障害

② スクーリング科目(養育の内容及び方法の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	児童虐待援助論	被虐待児の心理と行動、被虐待児への関わり方
2	思春期問題援助論	思春期児童の心理と関わり方
3	家族援助論	実親の心の動きの理解、家族再統合に向けての援助
4	非行の理解と対応	問題行動の理解、生活環境づくり、子どもの力量形成
5	障害児の理解と養育	障害の種類と内容、障害のとらえ方、障害児への対応の仕方(発達障害・DSMにもとづく主な精神障害の分類と理解)
6	専門里親演習	ロールプレイングや事例検討を通して被虐待児等への関わり方を探求する

令和6年度専門里親認定研修 面接授業（スクーリング）日程表（予定）

期 間：令和6年9月27日（金）～29日（日）

会 場：早稲田大学 早稲田キャンパス 22号館

9月	午 前	午 後
27日 （金）	9：45 受付開始 10：15 オリエンテーション 10：30 講義Ⅰ 「専門里親の意義と目的」 12：00 昼食	12：50 講義Ⅱ 「思春期問題援助論」 14：20 14：30 講義Ⅲ 「少年非行の理解と対応」 16：00 16：10 グループ討議①「自己紹介等」 17：00
28日 （土）	9：00 講義Ⅳ 「障害児の理解と養育」 10：30 10：45 講義Ⅴ 「家族援助論」 12：15 昼食	13：15 養育演習（役割演技法） 16：30
29日 （日）	9：00 講義Ⅵ 「児童虐待援助論」 10：30 10：40 事例検討 模擬事例による事例検討 「被虐待児ケース等への支援他」 12：40	13：15 グループ討議② 「養育にあたり大事にしていること等」 14：30 閉会

令和6年度専門里親認定研修 面接授業（スクーリング）日程表（予定）

期 間：令和6年11月1日（金）～3日（日）

会 場：西日本こども研修センターあかし

11月	午 前	午 後
1日 （金）	9：45 受付開始 10：15 オリエンテーション 10：30 講義Ⅰ 「専門里親の意義と目的」 12：00 昼食	12：50 講義Ⅱ 「思春期問題援助論」 14：20 14：30 講義Ⅲ 「少年非行の理解と対応」 16：00 16：10 グループ討議①「自己紹介等」 17：00
2日 （土）	9：00 講義Ⅳ 「障害児の理解と養育」 10：30 10：45 講義Ⅴ 「家族援助論」 12：15 昼食	13：15 養育演習（役割演技法） 16：30
3日 （日）	9：00 講義Ⅵ 「児童虐待援助論」 10：30 10：40 事例検討 模擬事例による事例検討 「被虐待児ケース等への支援他」 12：40	13：15 グループ討議② 「養育にあたり大事にしていること等」 14：30 閉会